

2025 第 21 号 <No.250> モンゴル国立医科大学主催「職業性 COPD に関するワークショップ」での講義（2025 年 10 月 20 日配信）

9 月 22 日、森本 泰夫 教授（呼吸病態学）、石丸 知宏 教授（医学概論）は、モンゴル、ウランバートル市近郊の Altan Shonkhor Resort にて開催された、モンゴル国立医科大学主催「職業性 COPD（Chronic Obstructive Pulmonary Disease：慢性閉塞性肺疾患：）に関するワークショップ」において、韓国カトリック大学、豪州アスベストおよび粉じん疾患研究所（ADDRI）の関係者とともに講義を行いました。本ワークショップは、「職業性 COPD に関する教育」をテーマにモンゴル国立医科大学が主催し、本学、韓国カトリック大学、ADDRI がいずれも WHO 指定協力機関として開催を支援しました。

午前の部では、小グループに分かれて、吸入薬治療、マスクフィットテスト、CPAP（Continuous Positive Airway Pressure：持続陽圧呼吸療法）、スパイロメトリー検査に関する実技を指導し、午後の部では、森本教授による COPD の病態生理に関する講義、石丸教授による COPD の疫学研究実践法の紹介が行われました。さらに、各国の職業性 COPD の現状、サーベイランス、治療、職場環境改善に関する講義等も実施されました。

モンゴル国内から約 50 名の呼吸器内科医が参加し、参加者および主催者からは、本ワークショップに対して高い評価が寄せられ、今後の継続的な教育支援の要望がありました。



森本教授による講義



石丸教授による講義



参加者集合写真